

追加資料 1

福祉環境委員会

(健康局)

令和2年9月24日

新型コロナウイルス感染症対策について

1 市内感染者の発生状況

(1) 患者数 (9月23日8時現在)



※確定日基準で集計。

※人口は令和元年10月1日時点の推計人口。

※陽性率 = 陽性件数集計 ÷ 新規検査数集計 (陰性確認検査を含まない。)

※陽性率は月曜から日曜の合計で、1週間ごとに更新されます。

患者発生総数 **964人**



宿泊療養施設への入所状況 ニチイ学館 宿泊棟 4人 東横INN 1人

※「患者発生総数」は、速報・調査中の患者も含みます。

※「宿泊療養施設等」は、入院調整中の人を含みます。

※「治癒確認(退院等)」とは検査で病原体を保有していないことが確認できた人(他疾患で入院中の人を含む)。

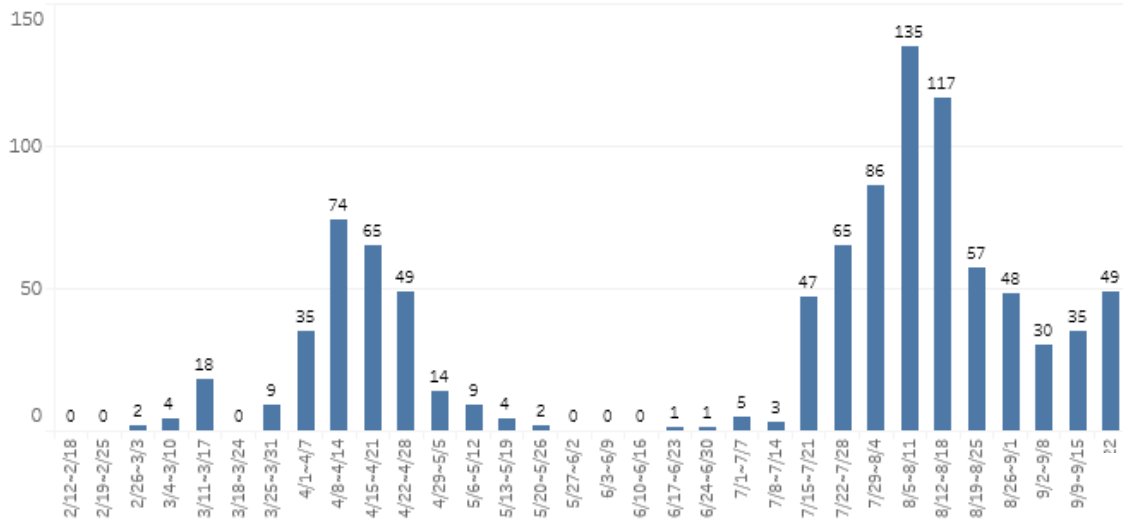
※速報値のため後日修正される場合があります。

※再陽性等を含む。

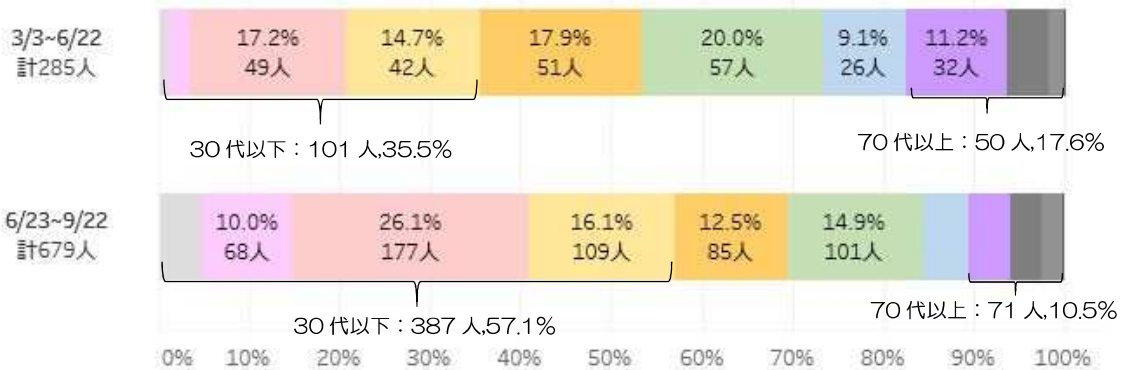
新規感染者数の推移

※確定日基準で集計

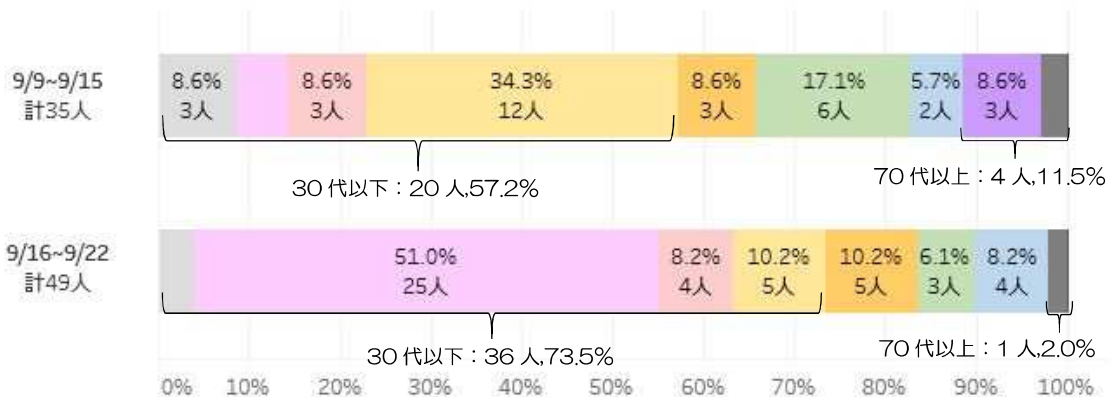
※再陽性を含む



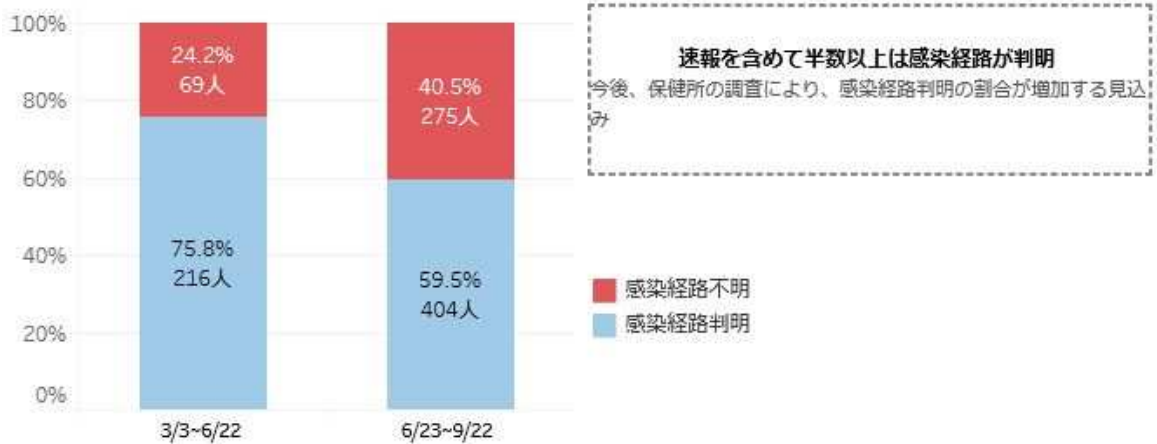
年代別の割合



▼直近2週間の状況



感染経路の判明状況



(2) クラスターへの対応 計 15 件

・ 3月3日～5月20日：7件

認定こども園	6名
介護保険通所事業所	5名
西警察署	12名
中央市民病院	36名
神戸赤十字病院	37名
環境局須磨事業所	17名
神戸労災病院	3名

・ 6月23日～9月22日：8件

市内保育施設	11名
障害児福祉サービス事業所	11名
市内介護施設	25名
市内保育園	9名
酒類提供飲食店 A	6名
民間病院	8名
酒類提供飲食店 B	6名
市立小学校	27名 (9月22日現在)

国の新型コロナウイルス感染症対策分科会での 感染状況ステージの指標と本市の現状比較

政府の分科会は、ステージⅠ～Ⅳの状況に応じて休業要請などの講ずべき施策を提案しています。現状の判断に用いる目安として6項目の指標が設定されており、下記に神戸市の状況を示しています。

ステージⅠ：感染者の散発的発生及び医療提供体制に特段の支障がない段階

ステージⅡ：感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階

ステージⅢ：感染者の急増及び医療提供体制における大きな支障の発生を避けるための対応が必要な段階

ステージⅣ：爆発的な感染拡大及び深刻な医療提供体制の機能不全を避けるための対応が必要な段階

(出典) 内閣官房

医療提供体制等の負荷		
①病床のひっ迫具合		②療養者数 (人口10万人あたり)
病床全体 病床の占有率 最大確保 18% (28/160) 現時点の確保 23% (28/120)	うち重症者用 病床の占有率 最大確保 4% (2/51) 現時点の確保 5% (2/39)	
ステージⅢの指標 最大確保20%以上 現時点の確保25%以上		ステージⅢの指標 15人以上
ステージⅣの指標 最大確保50%以上		ステージⅣの指標 25人以上
<small>※最大確保とは、神戸市がピーク時に向けて確保しようとしている病床数です。</small>		

監視体制	感染の状況		
③PCR陽性率	④新規報告数 (人口10万人あたり)	⑤直近1週間と先週1週間 の比較	⑥感染経路不明割合
4.3% 9/7~9/13	3.2人 9/16~9/22	9/16~9/22 49人 9/9~9/15 35人	22.4% 9/16~9/22
ステージⅢ・Ⅳの指標 10%	ステージⅢの指標 15人 ステージⅣの指標 25人	ステージⅢ・Ⅳの指標 直近一週間が 先週一週間より多い	ステージⅢ・Ⅳの指標 50%

■ ステージⅢの基準に達している。

2 感染拡大防止

(1) 相談状況 (1月27日～9月16日)

相談窓口	件数 (件)
①各保健センター (1月29日～)、保健所予防衛生課 (1月27日～)	12,036
②専用健康相談窓口 (2月1日～4月7日)	10,707
③帰国者・接触者相談センター (2月6日～4月7日)	6,089
④新型コロナウイルス専用健康相談窓口 (4月8日～)	45,026
⑤チャットボット相談 (5月20日～) 聴覚障害のある方や電話が苦手な方でも時間と場所を問わず、スマートフォン・タブレット等画面で気軽に相談先や受診先を確認できるツール。	21,738
計	95,596

※専用健康相談窓口最大相談件数：4月13日1,047件

※専用健康相談窓口直近 (1週間) 平均相談件数：145件 (9月10日～9月16日)

(2) PCR検査等の実施状況

①検査可能数

現在、市内で一日あたり最大562検体の検査体制を確保。今後、シスメックス衛生検査所にて検査の効率化により、10月中に最大662検体の検査体制を構築できる見込み。

検査機関名	検査能力	最大検査数 (8月14日)	備考
環境保健研究所	142 検体	123 検体	
シスメックス衛生検査所	200 検体	0 検体	10月中に検査体制拡充予定 (最大200→最大300 検体)
市内医療機関	200 検体	184 検体	
医師会検査センター	20 検体	1 検体	
合 計	562 検体	308 検体	

直近2週間とピーク時比較（陽性件数）

	直近2週間		陽性件数ピーク時 (3月～6月)
	9/7～9/13	8/31～9/6	4/6～4/12
陽性件数	44件	27件	67件
新規検査数	1,017件	1,164件	312件
陽性率	4.3%	2.3%	21.5%

※月曜～日曜の1週間集計。

※新規検査とは、新型コロナウイルス感染症の患者であることが疑われる者等に対し、その診断を目的として行う検査。

※陽性率＝陽性件数÷新規検査数

②抗原検査

- ・帰国者・接触者外来、救急外来等で、現在の感染の有無の迅速な診断に積極的に活用（約30分で結果が判明）。
- ・市内医療機関での抗原定性検査（迅速検査キット）による検査状況（9月16日現在）
検査実施総数：市内28医療機関972件
- ・PCR検査と同様に、無症状者や唾液を使った検査に対応できる抗原定量検査の専用機器を8月20日に環境保健研究所に導入。現在、性能評価中であり、今後の検査数増加への対応として活用予定。

③ビジネス渡航者向けPCR検査及び証明書発行業務（8月17日から開始）

- (ア) 対象者 ビジネス目的の渡航者でPCR検査と陰性証明を求められている方
- (イ) 実施機関 兵庫県予防医学協会 灘健診センター
- (ウ) 実施日 毎週月、木曜 1日10名程度
- (エ) 実績 5件（9月23日現在）

④積極的検査の実施状況

- ・医療機関、福祉施設、学校園
感染者が発生した際に、国基準で全員に検査を行うこととされている濃厚接触者に加え、市独自に、一定の感染リスクがあると考えられる健康観察対象者に対し積極的検査を実施。
- ・酒類を提供する飲食店（8月20日から開始）
全国的に繁華街の接待を伴う飲食店における集団感染等が報告されており、神戸市においても市内の繁華街で初のクラスターが発生したため実施。

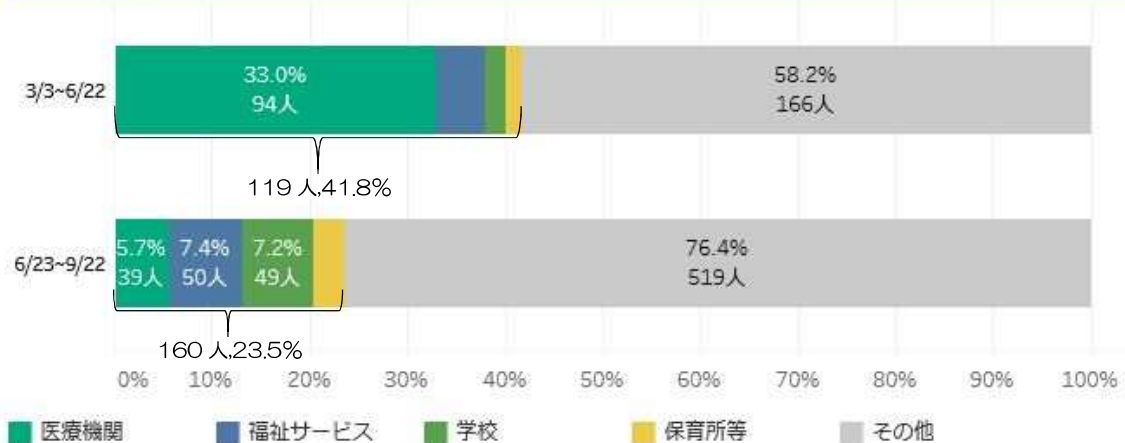
(集計期間：6月23日から9月13日まで)

検査対象	検査数	(内訳) 施設区分	備考
濃厚接触者	549件	医療機関 24件, 学校 88件, 福祉・保育施設 355件, その他 82件	国基準による検査
健康観察対象者	1,733件	医療機関 719件, 学校 641件, 福祉・保育施設 330件, 酒類を提供する飲食店 17件, その他 26件	国基準を超えた積極的検査
合計	2,282件		

▼積極的検査の状況



施設での発生者数



3 医療提供体制の確保

(1) 外来医療体制

- ・帰国者・接触者外来については、患者の発生状況を踏まえ順次拡大し、9月16日現在市内に11か所設置（医療機関名は非公表）。
- ・検体採取（鼻咽頭拭い液・唾液等）については、市内の病院や診療所189か所にて実施（9月14日現在）。

(2) 入院医療体制

- ・兵庫県対処方針で示されているフェーズに応じて、感染症指定医療機関である中央市民病院及び適切な感染予防策が取れる市内医療機関の連携のもと、必要な新型コロナウイルス感染症受入病床を確保している。

兵庫県対処方針（8月28日改定）におけるフェーズに応じた本市の入院医療体制
（9月17日現在）

		感染小康期	感染警戒期	感染増加期	感染拡大期 1	感染拡大期 2
県	新規感染者数 〔過去1週間の1日平均〕	10人未満	10人以上	20人以上	30人以上	40人以上
	運用病床数 〔うち重症〕	200床 (40床)	300床 (50床)	400床 (70床)	500床 (90床)	650床程度 (120床程度)
市	市内運用病床数 〔うち重症〕	50床 (16床)	70床 (16床)	100床 (34床)	120床 (39床)	160床 (51床)

直近2週間とピーク時比較（入院患者数）

	直近の日とその1週間前		入院,入所者数ピーク時 (3月~6月)
	9/22	9/15	4/25
入院,入所患者数	30人	29人	140人
入院患者数	28人	22人	106人
(うち重症)	(2人)	(3人)	(9人)
入所患者数	2人	7人	34人

※重症患者数のピークは4/30~5/1の12人。

(3) 医療機関支援

①新型コロナウイルス感染症対応医療機関支援補助金

(ア) 入院勧告を受けた患者及び擬似症患者の入院受け入れに対して、

- ・患者1人あたり12,000円×入院日数(上限20日)
- ・平日1人1回30,000円、土日祝1人1回60,000円を加算

(イ) 検査のための検体採取に対して、

- ・令和2年4月1日～5月21日(非常事態宣言中)の採取 4,000円×被検査人数
- ・令和2年5月22日以降の採取 3,000円×被検査人数

②こうべ病院安心サポートプラン事業補助金

(ア) 院内感染防止基本対策

個人防護具着脱手順の再徹底研修、iPadなどの感染症患者との遠隔コミュニケーションツールの活用など、市が掲げる取り組みのうち3つ以上の実施に対して、1月あたり30万円

(イ) 院内感染防止追加対策

基本対策に加えて、原則として10床以上の新型コロナウイルス感染症専用ゾーンを1月あたり1週間以上の設置に対して、1月あたり550万円

(ウ) 発熱等救急患者受入れ対策

発熱等の症状を有する救急患者の入院受け入れに対して、患者1人あたり5万円

③遠隔ICUシステム

重症化を恐れて感染症患者が市内医療機関から中央市民病院に早期に転送されることを抑制し、中央市民病院が重症患者への対応を重点的に行うことができるよう、株式会社T-ICUが提供する「遠隔ICU(集中治療支援)システム」を市内の医療機関に導入し、T-ICUに登録している集中治療専門医が待機するサポートセンターとネットワークでつなぎ、生体情報モニター、電子カルテ等の情報を共有してコンサルテーションを行う。

また、中央市民病院が感染症指定医療機関としての実績を踏まえ、T-ICUに対して新型コロナウイルス感染症患者に係る知見を共有し、治療方針等の助言を行う。

(4) 宿泊療養施設

施設名	開設日	入居可能 人数	入居者数 (9.22 現在)	契約期間
株式会社ニチイ学館 ポートアイランドセンター宿泊棟	4月11日	100名	4名	令和3年 3月31日まで
東横INN 神戸三ノ宮駅市役所前	8月19日	110名	1名	令和2年 11月17日まで

- ・看護師を24時間体制で配置。医師、保健師による健康観察を実施

4 風評被害対策

(1) 風評被害対策の取り組み

感染者は特別視される対象ではなく、守られるべき存在であることを、市ホームページ及び広報紙KOB Eに10月号に掲載。

また、患者や家族が治療や健康観察の経験を踏まえて、その時に感じた事の「メッセージ」や、市民から医療介護従事者等に向けた「感謝や応援メッセージ」を9月11日より募集。いただいたメッセージを市のホームページやポスターなどで紹介することで、新型コロナウイルス感染症の正しい知識を発信。

(2) 患者本人やその家族等コロナの影響を受けた方へのメンタルケア対策の取り組み

各区保健福祉部や精神保健福祉センターの専用電話において、保健師及び精神保健福祉士等がこころの相談を実施。

- ・相談件数 187 件（令和2年2月～8月）

(3) 医療従事者等への心のケアにかかる電話相談窓口の設置

医療従事者や社会福祉施設従事者等に特化して、心のケアを行うことを目的に6月26日から電話相談窓口を設置。

- ・相談件数 28 件（9月16日時点）

5 熱中症対策

(1) 「神戸市熱中症対応指針」（5月29日策定）に沿って周知啓発を実施（5月中旬～9月） （指針内容）

- ・人との距離が保てる時は、マスクを外す時間を増やす
- ・児童の登下校時（十分な距離が保たれているとき）には、マスクの着用はしない。
- ・2歳児未満のこどもは、呼吸がしにくくなるため、マスクの着用はしない。
- ・マスク着用により水分補給を忘れがちになるため、積極的な水分摂取を促す 等

(2) ウォーターサーバーの設置及び熱中症予防キャンペーンの実施等（9月17日現在）

- ・市内の公共施設等 93 か所にウォーターサーバーを設置。

- ・1,145 か所に啓発物を設置（協力店数 353 店舗、児童館・学童保育施設 240 か所、薬局 459 店舗、ウォーターサーバーを設置した公共施設等 93 か所）。
- ・さんちか夢広場等において、大学生等を中心とした啓発スタッフが職員とともに、熱中症予防について呼びかけるキャンペーンを実施。
- ・広報紙への挟み込み、市役所・区役所での垂れ幕、フラワーロードでのバナー、駅の柱巻き、電車の車内つり広告、デジタルサイネージ、ポスター掲示・ホームページ等で啓発。

8 月末時点の熱中症搬送者数

	5 月	6 月	7 月	8 月	計
令和 2 年度	17 人	58 人	83 人	508 人	666 人
令和元年度	31 人	26 人	150 人	395 人	602 人